

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 27-034

PDCA	事務事業名	キャリア教育推進事業	部課等名	教育部学校教育課学校担当	担当 内線等	小川 519
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第1節 学校教育の充実 基本施策： 1. 義務教育 単位施策： (4) 地域との連携協力 個別施策： ②学校・家庭・地域との連携の推進				
	根拠法令等					
	対象・目的	元気いっぱい、笑顔いっぱい、優しさいっぱいに伸びようとする子どもを育てる教育を推進するため、キャリア教育の推進を図る。				
	目的を達成するための手段・活動内容	中学生を対象とした身近な職業人から学ぶ機会を2回実施し、生徒にとって幅広い職業観を養う。各中学校区で行われる幼保小中懇談会等の場で、キャリア教育の年間計画を作成し、地域に根ざした一貫したキャリア教育を取り組む。				
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位
		身近な職業人から学ぶ機会（各学校）	2.0	2.0	2.0	回
		幼保小中懇談会	14.0	14.0	14.0	回
		事業費	788	863	0	
		人件費	1269	1249	932	
		総事業費	2057	2112	932	
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①身近な職業人から学ぶ機会（各学校）	2.0	2.0	2.0	回	
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位
		身近な職業人から学ぶ機会（各学校）	実績値	2.0	2.0	2.0
目標値			2.0	2.0	2.0	
		実績値				
		目標値				
		実績値				
	目標値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト削減余地 ない		
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある			
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない		
事業の評価・課題	B 中学校区ごとに行う幼保小中懇談会においては、年間の取組計画を作成し、学校種をこえた連携のため情報共有や教職員の交流を行いながらキャリア教育の実践に継続して取り組むことができた。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	合理化 キャリア教育推進委員会を開催し、各中学校区単位でのキャリア教育の推進を図る。				
	令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位		
		身近な職業人から学ぶ機会（各学校）	2	回		
		中学校区キャリア教育推進委員会	15	回		